



浩養座談会

第3号

令和5年5月

発行 浩養地区社会福祉協議会
実行委員会「浩養座談会」
(千葉県富里市 浩養地区)
連絡先 浩養座談会ホームページ
<http://kanto.me/koyo-za/>
mail: koyo-za@kanto.me

浩養の魅力！ 紹介します 今回は 浩養地区の歴史探訪

浩養の由来は为什么呢？

孟子の言葉を引用したもの

我、善く吾が **浩然の氣** を養う

言葉に出して説明することは困難。分量は至りて広大（至大）又至りて堅固（至剛）

校歌「浩く心を養わん」は子供には
難しいので易しく説いたものです。

至大至剛：この上なく大きく
この上なく強い様



浩養小学校第7代校長 篠原弘(こう)先生 (昭和35年～38年在職)

ご長男 高松地区 篠原栄一さん(81歳) にお話を聞きました。

現在の浩養小学校は、昭和23年に南小学校浩養分教場から富里村立浩養小学校として独立し、弘先生は着任してすぐに校歌を作詞されました。篠原さんの家は親子代々浩養小学校に通い、お孫さんが在学中だった平成17年に現在の校舎が完成した際は、高松区長として祝賀会に招待され、伝統を守りつつ進化を遂げる母校を懐かしく思いながらお話をしてくださいました。

お父さんとの思い出

父は戦時中、政府からの要請で朝鮮に派遣され、朝鮮人に日本語を教えていたそうです。戦火が激しくなる中で教員という身分は優遇され、母とともにほかの人よりも早く帰国し、間もなく私が生まれました。

私が富里中学校に通っていた時、父は同じ学校の教頭でした。父親が教師というのは窮屈なもので、悪いことをすれば他の先生から「教師の子どもにはろくなやつがない」などと理不尽なことを言われた記憶があります。

高松の歴史

今から600年ほど前、九州にいた平家の落人(おちうど)(戦いに敗れて逃げていく人)たちが高松に移住し、5軒ほどの集落ができたのが始まりだと聞いています。高松は「篠原」という名字が多いですが、九州にも同じく「篠原」の多い地域があります。

地区内ではお互いの家を「屋号」で呼んでいます。私の家は水車があり、米つきをしていたことから「水車」という屋号です。ほかにも麴(こうじ)・醤油・油を作っていた家はそれぞれ「麴屋」「醤油屋」「油屋」という屋号で、麴屋さんのお宅には今も麴室(こうじむろ)が残っています。

高松は「盛松(さかりまつ)」「中組」「北組」の3つに分かれ、芝山街道沿いの盛松には今でも屋号として残っている「緑屋」「松屋」「藤屋」という3軒の宿屋がありました。屋号に残る麴などは、その宿屋に卸していたほか、一般にも販売されていました。

田んぼが多い地区ですが昔は養蚕もさかんで、私の家もそうでした。父が朝鮮にいたとき世話をしてくれた朝鮮人が戦後來日して我が家に数年間住み込み、養蚕を手伝っていたのを覚えています。

明治から昭和にかけて、「私立 高松学館」という寺子屋がありましたが、火災で焼失し、たくさんの貴重な資料を失ってしまったことがとても残念です。高松は、来客があるとお酒をふるまう家が多く、今では考えられませんが学校の先生も駐在さんも、来ればお酒を飲んで帰った時代もありました。

立沢NT(立沢新田)

- 江戸時代は、高野牧(馬を放牧)の一部だったが、享保の改革における新田開発で「旧立沢村」の切添新田となる。(切添(きりぞえ)とは、江戸時代、本田畑の地続きの周辺の空地进行を農民たちが切り広げて開墾して耕地にすること)
- 明治時代になり、多くの切添新田は本村に吸収されたが、立沢新田は規模が大きかったため、明治5年に「旧立沢新田村」が成立した。

高松

- 江戸時代は、旧高松村に属していた。
- 小字に「盛松(さかりまつ)」が見られることから、今はないが松の太木又は松並木などがあったと考えられ、高松の名称になったと考えられる。
- 佐倉から九十九里方面への街道にあったことから、継立場(江戸時代の五街道やその脇街道に設けられた休憩施設)となり、後に3軒の宿屋「松屋」「藤屋」「緑屋」が開業し、一時は東京に支店を出せるほど賑わっていた。
- 総武本線の予定地となったが、蒸気機関車の排煙による火災を恐れ、反対したことにより、鉄道の敷設がされず、次第に客が少なくなった。

二重堀

- 二重になった堀があったと言われるが、その痕跡は見当たらない。おそらく、小さな谷がその様に見えていたと思われる。
- 立沢に属するので、江戸時代は旧立沢村に含まれていたと考えられる。



高松入の天王様
7月15日

神輿を担いで地域の家(36軒)を回ります。
麦藁神輿を地面に打ち付け紙吹雪が舞い落ちます。

天王様を継承されている高松入地区
長谷部 清さんに聞きました。

明治時代に、現在の埼玉県からの移住者によって開墾されたことから、埼玉県に分布する「天王様」のお祭りが伝えられ行われるようになりました。

目的は「疫病退散」です。神輿を掛け声とともに地面に打ち付け「地虫」を退治します。住民の健康のみならず、作物の健康も祈願します。

7月15日に雨天でも行います。神輿は、当日の朝に麦藁で作ります。子ども達が学校から帰ってから、子ども達が担ぎます。年長の子が綱でおはらいをすると、おひねりやお菓子をもらえます。

You Tubeにアップされているのでご覧下さい。

【高松入の天王様】で検索

豆知識② 服部大明神

高松入りが開拓された頃、若妻ばかり亡くなった。酒々井の占い師によると、昔に奥州からきた老婆が病気で狂い死にしたあたりが残っているとのこと。
服部大明神を勧請し祭礼した後は、不幸は起きず、家は栄えた。

(高松入集会所の側に所在)

服部大明神

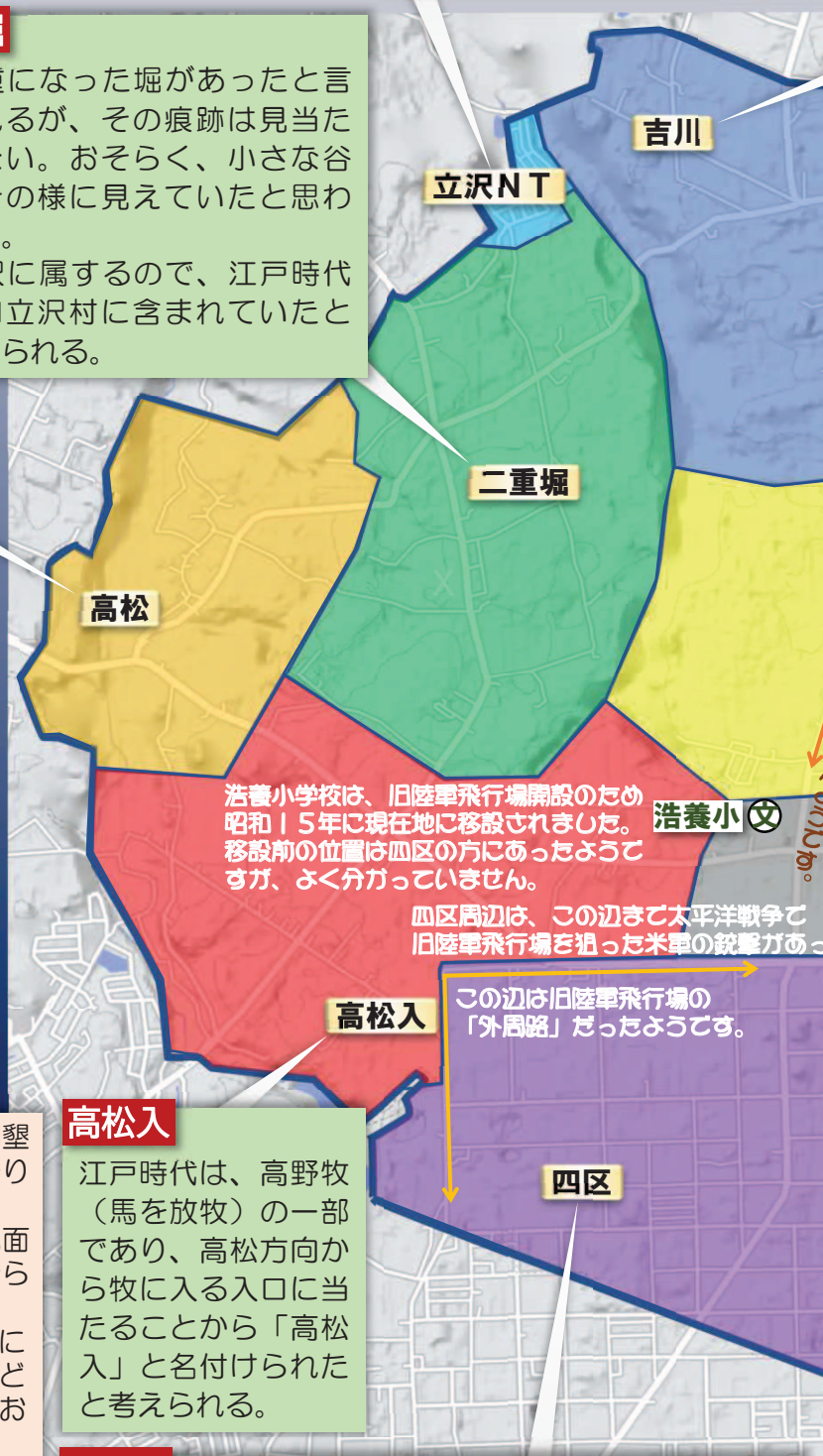


高松入

江戸時代は、高野牧(馬を放牧)の一部であり、高松方向から牧に入る入口に当たることから「高松入」と名付けられたと考えられる。

四区

- 江戸時代は、高野牧(馬を放牧)の一部
- 明治時代は、政府の開墾地で牧羊場となり、その区名が「四区」になった。
- 明治15年、吉川家(吉川地区参照)に払下げられた。
- 太平洋戦争で陸軍八街飛行場になり、米軍の攻撃を受けた。戦後は、新たな開墾地となる。
- 陸軍飛行場跡地であったため成田空港の候補地になったが、反対運動(2輪歩行トラクターで千葉県庁までデモ行進等)の末、空港は三里塚に開設



浩養小学校は、旧陸軍飛行場開設のため昭和15年に現在地に移設されました。
移設前の位置は四区の方にあったようですが、よく分かっていません。

四区周辺は、この辺まで太平洋戦争で旧陸軍飛行場を組った米軍の銃撃があった。

この辺は旧陸軍飛行場の「外周路」だったようです。

豆知識① 浩養地区の植生

浩養地区は、江戸時代ころまでは草原だったようです。
杉林などは、林業や境界などのために植林されたようです。

吉川(きっかわ)

- 平安時代の須恵器窯が発見されている。
- 江戸時代は、高野牧の一部。
- 明治時代は政府の開墾地で、牧羊場の用地となる。
- 明治15年に吉川経健(きっかわ つねたけ)に払下げられたことから「吉川」の通称が残されている。

金堀(金堀団地含む)

- 江戸時代は草原で高野牧(馬を放牧)の一部
- 明治時代は政府の開墾地。明治政府の殖産興業政策の一環の牧羊場となり、明治13年に取香種畜(とっこうしゅちく)となった際に「両国区字金堀」と名付けられたことに由来
- 明治15年、吉川家に払下げられた区域にも該当
- 戦後の農地解放により、現在に至る。
- この地から出土した絡条体圧痕文(らくじょうたいあつこんもん)という特徴的な文様を持つ縄文土器を「金堀式土器」という

金堀

実の口

金堀式土器(復元)

市立図書館
2F資料室蔵



吉川経健

(きっかわ つねたけ)

(山口県)岩国藩主吉川家2代目。廃藩置県後東京に移住。明治15年に金堀区を所有し、馬10頭、牛7頭、羊300頭で事業を開始したがうまくいかず、明治25年には松138万本、櫟22.5万本を植林。明治42年、55歳で永眠

実の口

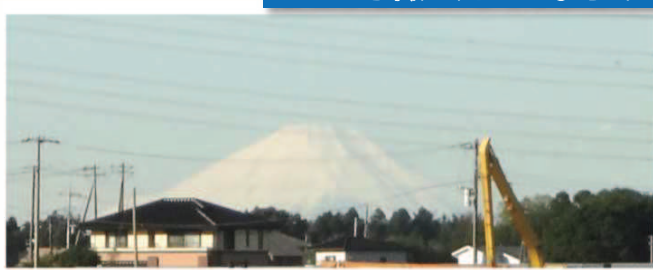
- 「巳ノ口」が転じたもので、江戸時代から呼ばれていた。「水の口」とも言われ、湧水地(河川の源流)があったことに由来するとも。
- 明治時代に開墾が始まると街道の交差点であることから、発展する。
- 軽便鉄道の駅が設置された。



- 実の口の道標(実の口交差点に所在)御大典記念も兼ねている。

(大正4年11月10日は、大正天皇御大典と呼ばれ、即位式などが行われ祝日となった。)

実の口から富士山を撮影！
どこから撮ったでしょう？



2回目 こうよう座談会 やります！

高齢世代

日時 令和5年5月18日(木) 9:30～

場所 金堀集会所

要申し込み

対象 浩養地区在住の75歳以上 定員15名

内容 ①まずは、みんなで1曲うたいましょう♪♪
(北国の春など)

②脳トレクイズ・体操

③富里市の現状

人口・高齢化率・介護認定率
市が行っているサービス

④市からのお知らせ

健康診断・マイナンバーカードなど

⑤市社協が行っているサービス

⑥地域包括支援センターについて

救急医療情報キット・エンディングノート
・人生ノート・デマンド交通などの紹介・
イベントのお知らせ、

⑦地区社協の高齢者事業

いきいきサロン・75歳以上見守り活動

⑧フリートーク

申し込みは 5/10(水)までに

電話 佐々木佳代(金堀在住) 090-3066-7738

メール koyo-za@kanto.me

応募用紙をダウンロードしてFAX

0476-94-1890 (佐々木宅)

「お名前・住所・電話番号」
をお知らせ下さい。

参加者にはもちろん

Quoカード1000円分プレゼント！



第3回 こうよう座談会

若者世代

令和5年8月予定

子育て世代 座談会 やりました。

浩養地区の魅力

- ・地域が学校に協力的です。児童がいない世帯からも浩養地区の子ども達の教育充実ため、協賛金を出して下さっています。
- ・十倉厚生園との交流があります。設立当初の校長先生がつながりを構築してくれました。
- ・浩養幼稚園をもっと宣伝してほしい。クラス編制の「おうち」みたいな幼稚園です。3歳児も受け入れ17時までのお預かりが夏休みもあり、仕事をしている家庭にも大好評です。

課題など

- ・学区外から浩養小学校・幼稚園に通うスクールバスがほしいです。送迎が入学入園のハードル
- ・幼稚園児の増加にともなう駐車場の拡大(プール周り等)が安全のためにも必要です。
- ・SNSを利用して情報を得るのもいいけど、集まりに参加し、直接お話する中で得るものは大きく参加してよかったです。



令和4年度 千葉県地域福祉フォーラムシンポジウム で発表

「こうよう座談会の取組み」を紹介しました。

令和5年2月19日(日) 開催